■レンタサイクルの可能性

期待の「自転車」に注目し

での事例を一つ紹介します。 深いところです。ビジネス街

うことでしょう。

ましたが、レンタサイクルも

その一例となるでしょう。

これまでレンタサイクルと

ちへの変貌が進んでいます。

e系社会」という言葉を使い ます。以前このコーナーで「R マーケットの兆しが見えてき なく、周辺に生まれ始めたサ てみると、自転車本体だけで

- ビスや商品などにも新たな

されていました。しかし、最 フレキシブルな足として利用 言えば、観光地などで安くて

3

ティサイクル」の社会実験が

各地で始まっているのは興味

イムの選択肢も広がったとい

「サイクルシェア」を中心事業とする「かりおん

の発展を狙って、

「コミュ」

新たな公共交通システムへ

次第に影響を及ぼし始めてい るでしょう。エコ意識が、ラ ロジーへの関心の高まりもあ は、生活者、企業、自治体、 始まっています。この背景に 学生街の駅前などでも展開が 近ではビジネス街や住宅街、

イフスタイルやまちづくりに

政府も含めた社会全体のエコ

生で確認された傾向でした。

クなどの付加価値の高い自転 た。さらに、マウンテンバイ ク国内出荷台数を抜きまし の勢いで、昨年には原付バイ 出荷台数は5年間で約50%増

サービスとなっています。

使い手の満足、ビジネス発

りそうです。

の都市でも大いに可能性があ 時代のニーズにマッチした

「自転車創業」であり、日本

万人という世界最大の自転車 上、のべ利用者数が3000 のステーションがあり、デザ

生意識調査でも、特に男子学 私たちHRIが実施した大学 旅行」だそうです。確かに、

ば、若者たちの消費の3K(嫌

松田久一氏の著書によれ

と言えます。

電動アシスト自転車の国内

インもよい自転車が2万台以

さと不安の中にある今という

通システム、これらのメリッ 展性、地球環境によい公共な

トから考えると、まさに豊か

がりが目立ちます。車をはじめ国内消費の右肩下

や横ばい気味ですが、人口減

少と少子高齢化の中で大健闘

う例では、1500カ所以上 展開されているヴェリブとい

壊以降、さらにはリーマンシ とは言うものの、バブル崩 布の口は固く閉じられ、自動 まった先行き不安の中で、財 ョック、ドバイショックで高

ベルです。05年ごろからはや 日本の自転車保有台数は約1 ・5人に1台と世界トップレ たとえば自転車マーケット、 と言えそうです。 会の明るいマーケットの兆し

上がりや横ばいキープなど、 私が若かった80年代と較べる 明るい兆しも見つかります。 と驚くほどの様変わりです。 ト関連商品など、探せば右肩 しかし、中にはエコポイン 車の出荷台数も増加傾向。最 充たせる自転車は、新たな社 時代のキーワード「3E」を エコノミー、エクササイズ、 もうなずけます。エコロジー 転車ショップに変わったのに あったドラッグストアが、自 近、自宅近くの駅前一等地に

けるところでした。ランチタ ーツ姿の若い男性たちが仲間 ドを使って、いつでも誰でも ミュニティサイクルの社会実 と共に自転車でランチに出か の前を通りかかった時は、ス 自転車を利用できるという什 料を払っておけば、ICカー 置し、事前に登録をして登録 貸出場所(エコポート)を設 ス街の歩道脇などに自転車の 験が実施されました。ビジネ は違う、魅力的で活力あるま までの無機質なビジネス街と 進んでいます。そして、これ リニューアルと共に再開発が をはじめとして続々と建物の 低料金(30分までは無料)で (大丸有)エリアでは、丸ビル ある大手町、丸の内、有楽町 その大丸有地区で、昨秋コ 東京の中心的ビジネス街で 晴れた日に私がエコポート ようが、 既にご存知の方も多いでし レンタサイクルの導

の都市で、かなりの成功を収 めて進展中です。パリ市内で 入は、いくつかのヨーロッパ 化があるわけです。駐輪代と ルからサイクルシェアへの進 駅に着き、大学などの通学の いうところに、レンタサイク

クルを見つけられます。京都 ために鉄道にアクセスするの 住んでいて、通勤や買い物の え、自転車でほぼ10分圏内に ています。駅前に駐輪場を構 イクルシェア」と名付けられ 紹介します。 の「かりおん」というお店を このお店の中心事業は

歩行者の事故なども増えてい

転車を複数人で活用しようと 差を上手く使って、一台の自 会員の自転車を必要とする時 イ会員」と呼びます。 ために使う利用者を「アウェ このホーム会員とアウェイ

デルと言えるでしょう。 けているのも特徴です。 と安心の関係づくりにも心が もメリットがあるビジネスモ してコミュニティにも社会に 用者に必ず声をかけて暖かさ する。さらに、スタッフは利 額2500円、常に自転車の 自転車使用料合わせて月々定 タッフを常駐させてサービス 整備も万全で、駐輪場にはス 利用者にも事業者にも、そ まさ した。その一方で、これから 力」の向上に目を向けてきま す。これまで悪いイメージと 来へと期待の持てる分野で

ビジネスです。 ■自動車優先からの転換

に、「知恵産業のまち」をス

の社会では、私たちが忘れか

のも事実です。例えば「放置 かど駐輪場」を整備するなど、 問題です。 自転車」や「運転マナー」 京都市では歩道脇に「まち

暮らしの場となる市街地に

さらに、通勤通学や日常の

■京都発の知恵ビジネス

も、おもしろいレンタルサイ 全国で駐輪場や自転車専用道 せん。自転車同士、自転車と の、まだまだ充分とは言えま 路の整備を進めているもの

会員」と呼び、他の場所から に使う地元利用者を「ホーム を見ると、パリ市内でも大胆 な自転車利用のための都市イ るようです。 ヨーロッパの都市の成功例

よりも自転車や歩行者の通行 の哲学から学ぶべきでしょ ルシステム以前に、環境整備 国には、自転車本体やレンタ したポリシーが必要なのでは を優先するというはっきりと わかります。もはや、自動車 ないでしょうか。自転車先進 ンフラ整備を推進したことが ||「人力」が近未来ニーズ

で移動しようと、懸命に「馬 早く、より快適に、より遠くま な意味を込められそうです。 業」という言葉も、「自転車創 業」と一文字変えて、前向き 私たち人間の歴史は、より

して使われていた「自転車操

それにしても、やはり近未

ローガンとする京都発の知恵 業のこれからが楽しみです。 けていた「人力」の楽しさ、優 たくなっています。自転車創 しさ、人間らしさを取り戻し (オムロン・ヒューマンルネ 中間真一)

利用については、多くの問題 しかし、自転車の積極的な

が未解決のままになっている

ッサンス研究所